

仙台市観光復興対策実施計画 平成30年度評価調書

別紙

都道府県名	仙台市	計画に包摂される市町村	—				
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	文化観光局観光交流部誘客戦略推進課 高橋 みちる				
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:万人)	12.0	13.8	20.0	23.6	28.0	
指標②	外国人旅行消費額(単位:億円)	49.0	56.2	77.3	94.3	115.0	
指標③							

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港国際線の旅客数(H29年度280,667人→H30年度310,811人) ・仙台駅観光情報センターの外国人利用者数(H29年14,517人→H30年16,412人) 						
2 定量的指標の達成状況	指標①	目標値	20.0	目標値の実現状況に関する評価	平成30年の仙台市内における外国人延べ宿泊者数は204,340人と過去最高を更新し、前年度に引き続き目標を達成することができた。			
		実績値	20.4					
	指標②	目標値	77.3	目標値の実現状況に関する評価		宮城県における外国人旅行消費額の増加に伴い、外国人延べ宿泊者について県全体に占める割合が高い本市において目標を達成することができた。		
		実績値	111.6					
	指標③	目標値		目標値の実現状況に関する評価				
		実績値						
3 事業の進捗状況		概ね順調に進んでおり、外国人延べ宿泊者数にかかる目標も達成できている。						
4 評価方法		仙台空港国際化利用促進協議会幹事団会議において外部関係者から本市インバウンド施策にかかる意見を聴取。KPIの達成状況に対するコメントは市独自評価による。						
5 中間評価の公表方法		市のホームページ及び担当課窓口にて公表する。						
6 計画全体の総合評価		本市の重点市場であるタイ及び台湾に対するプロモーションについては、現地有カメディアや影響力のあるブロガーによる情報発信等を行うことで、旅行関係者や一般消費者における本市及び東北の知名度向上を図ることができた。また、旅行商品造成・販売の促進にかかる取組みにおいても一定の成果が得られている。加えて、東北の観光案内所のネットワーク化事業やVR等技術を活用した観光資源の魅力創出事業、外国人視点による滞在コンテンツ発掘事業等により、受入環境整備や観光コンテンツの充実など、本市における外国人観光客の満足度向上につながる取組みについても、一定の成果を挙げることができた。						
7 今後の方針等		2020年における東北6県の外国人宿泊者数を150万人泊とする国の目標も見据え、引き続き東北6県・市等と連携しながら、外国人旅行者に訴求力のある滞在コンテンツの発掘・磨き上げを行うとともに、各国・地域の特性に応じたプロモーションや情報発信、受入環境整備など各般の施策を展開し、仙台・東北へのさらなる誘客並びに航空路線の維持・拡大を図るとともに、地域経済の活性化につなげていく。						